

Honda市販スポーツバイクの歴史は1959年発売のベンリイ CB92 スーパースポーツに遡ります。その後、ドリーム CB72 スーパースポーツ (1960年)、ドリームCB750 FOUR (1969年)、CB400 FOUR (1974年)、CB750F (1979年)、CB1000 SUPER FOUR (1992年) など、時代を代表するモデルを発売し、それらは現在でも深く愛され、オーナーによって大切に守られています。

これらのモデルに代表されるCBは60年近い歴史の中で、常に幅広いお客様に磨かれ、育て続けられることでHondaスポーツバイクの代表的なブランドとなっています。

CB1100は、このように継続、発展してきたCBの伝統を象徴するモデルとして2010年に発売されました。当初、主に日本のお客様を想定して開発されましたが、2013年モデルからは欧州や北米でも販売され、2014年にはCB1100 EXを追加。日本オリジナルのトラディショナルなスタイルは欧米でも根強い支持をいただいています。

私達は新しいCB1100の開発に際して、歴代のCB同様、機能面での進化に加えて、「CB1100だからこそ得られる楽しみ」に着眼し、それを推し進めた「さらなる価値の明確化」を課題としました。そして、多くのモデルを乗り継いできた経験豊かなライダーを中心に評価いただいている「走っている時のみならず、磨き、眺め、語らう時の充実感」をさらに深めたいと思いました。

私達はまた、この「所有する喜びを深めた伝統的な車体構成を持つオートバイ」を、より若い人達にも味わっていただきたいと思っています。そしてそれを価値あるものとして将来に継承していくために、ハンドリングや運動性能の傾向が異なる新たな方向性の提案、換言して「走りの質」を上げたいと考えました。

開発テーマは

**「シンプルでエモーショナルな佇まい」を深め、「走りの質」を上げる
色褪せない伝統 空冷直4“THE CB”**

その実現にむけて、今回CB1100 EXのモデルチェンジと併せ、新たにCB1100 RSを追加します。

新しいCB1100 EXは、伝統的な車体構成を継承しながら「所有する喜び」をさらに深めるため、外観や仕様の大幅見直しを図りました。

新たに追加するCB1100 RSは、新しいCB1100 EXと共通の「所有する喜び」を深めたスタイルで、今まで以上に若いお客様も1100cc空冷直列4気筒DOHCエンジンのポテンシャルを引き出したくなるような、走りの楽しさを提供する足まわりと組み合わせることで、CB1100の世界を広げます。